

# 京交山岳部報

例会・行先	日程・集合	担当者	コース
<b>第2005回★★★</b> 沢登り 比良 安曇川ヘク谷	7/9(土) AM7:30 出町柳 京都バス乗場前	鷺見 敏一 (本局 689)	出町柳-坂下(ヘク谷)- 小女郎池-小女郎峠-蓬莱 山△1174m-小女郎峠- 小女郎谷-蓬莱駅
持物, シュルンゲ2~3本, カナビラ2筒程度。わらじ又はフェルトシューズ, その他日帰り装備。 地図 1/25000「花背」「比良山」			
<b>第2006回★★</b> 佐渡最高峰・金北山 と一等三角点	8/1(月)~5(金) 8/1 PM7:00 壬生厚生会館前	大倉寛治郎 (検車区 3371, 642-4332)	費用約55,000円。マイカー 利用。申込締切 7/15。
地 図 5万図 小木, 赤泊, 相川, 鷺崎, 弥彦 コース 壬生~京都東(名神)~北陸道上越IC~直江津港~小木港~鶴巢(一等本点184m) ~経塚山(一等補点636m)~妙見山(1040.2m)~佐渡最高峰(金北山二等1172m) ~[泊]~山樗ヶ平山(一等本点947.14m)~両津町[泊]~新潟港~多宝山(測定 点634m)~弥彦山散策~[泊]~京都 *コース, 出発時間は参加者の都合で変更することがある。 (直江津港午前3時20分発出港に乗船予定) 備 考 シラフを持参して下さい, 仮眠用にテントを使用しますので。 宿泊は民宿(温泉)を利用します。 [第1999回例会]の再行です。			
45周年記念登山「北海道(道東の山旅)」 2000回記念登山, 上記の山行については, 6月号部報で延期の連絡をしておりましたが, 山行日程が確定しましたのでお知らせ致します。 平成6年8月25日(木)~29日(月)までの5日間 なお, 前回日程での参加者以外で, 今回変更した日程で参加できる方があれば担当者まで申し 込んでください。 鷺見 敏一(689), 吉田 武(654), 井戸 澄夫(734)			
<b>今月の集会</b> 日 時 7月11日(月)PM6:30 場 所 厚生会館 4F 大教室		<b>企画運営委員会</b> 日 時 7月20日(水)PM6:30 場 所 厚生会館 4F 大教室	



## レジャー白書

岡田茂久

先般、総理府から「平成5年度観光の状況に関する年次報告」が発表された。いわゆる観光白書といわれるものでレジャー白書ともいう。

これによると平成5年度の観光状況は、国内では宿泊観光の参加者が2億4百万人、これは日本の全国民が一人平均1.63回参加。延べ宿泊数は3億8千万泊、全国民が1人平均約3日も宿泊したことになるといふ。もちろんこれには我々山屋のテント泊まりなんかは入っていない。

自治省が発表した別の資料によると、温泉のある全国市町村が徴収した「入湯税」は、ここ9年ほど連続で最高記録を更新中という。昨年度の入湯税収194億円、利用客は1億4千3百万人になったという。全国民が年1回は温泉に入ったという勘定である。しかし、白書によると、その実態はバブル崩壊後の景気後退を反映して「安、近、短」。すなわち費用を掛けず、近くで期間も短くというのが多いようである。これは近年、地域振興の目玉として、故郷創生資金等を利用し、温泉発掘を推める全国の市町村が増えた影響も大きい、最近はどここの山に行っても温泉に入ることができるようになった。この入湯税収には我々山屋も随分貢献しているはずである。

日本人の余暇にたいする意識調査では、「通常的生活よりもレジャー生活を重視する」傾向が強まっている。週休2日制の拡充等で増えた余暇を如何に活用するかということであるが、その動向は「家族旅行、アウトドアスポーツ、健康作り」等、創造型の余暇活動を目指しているという。この傾向を反映してか、スーパー等でもアウトドアグッズのコーナーがおおはやり、金詰まりに、駐車場難というのにキャンピングカーの引き合いも上々という。

こうした世間の動向は、我々の周りにおいても同様であり喜ぶべき傾向と思っていた。ところが近年の山岳部としての活動の低迷さはどうしたことであろう。我々の登山もすっかりレジャー化されてしまったのか、「安、近、短」のおまけに「楽、楽」が加わり、「体が楽で、楽しく」できるだけ高い所まで車で登り、景色がよく、気のあった仲間だけでワイワイと楽しくという方向に傾いてしまったようである。おかげで伝統であった奥美濃、台高等への例会がすっかり陰をひそめてしまった。

登山は創造型の余暇活動としては最たるものであるが、一般にいうレジャーとはちと違う。身体を使い、足を使い、頭を使う登山、登山には文化があるなどと言うのは、山屋を自負するものの独り善がりかもしれない。しかし、なんとか「山登り」をレジャーの域に留めず「登山」まで昇華したいものである。まあ、こんなことを言っているのは、そのうち誰も付き合ってくれなくなるのかも知れない。

この原稿を覗きこんだウチのカミさん、「安、近、短どころか、ここ数年、旅行なんかした記憶がないんですよ。どこのお話なんでしょうね」。こちらのほうの対応も頭の痛いところである。

【第2001回例会】

## 小豆島

### 拇指嶽，星ヶ城山

鷺見敏一

5月3日

大型連休につきものの交通停滞を予想して、出発時間を1時間早めて午前11時に壬生庁舎を出発し一路姫路港へ向う、やはり幹線道路は、交通マヒ状態である。側線や間道などを走りフェリー乗り場へ出港30分前に着いた。

姫路港から関西急行フェリーに乗船する。昼間の船旅も久しくゆっくりとくつろげる、小豆島が近づくにつれ拇指嶽、千羽ヶ嶽や星ヶ城山などがクッキリ目に映り島の山旅に思いを馳せる。フェリーが福田港へ接岸し下船の後、島の外側路線を宿泊予定である田井の民宿に向け走る。途中採石場地帯では永年採石したためであろう山は崩れ岩肌を露出し痛々しい。今日は素泊まりのため、夕食を調達しなければならず食料品店を物色したが芳しくなくコーヒータムをとって民宿に入る。荷物を整理した後、夕食のため夜の街へくりだし、土庄の一品料理店で豪華な夕食に舌つつみをうち大満足である。困ったことに夜半からふり出した雨がだんだん雨足も強くなり明日の天候が心配である。

5月4日

昨夜来の強かった雨も嘘のようからりと晴れ、新緑をいっそう鮮やかにしたすがすがしい朝を迎えた。

島東の国道436を南下し、途中、見晴らしの良い南風台（レストハウス）で休憩する。

「橋」で西の方角へ路をとり堰堤の下に駐車する。久々に訪れたゆえ周囲の環境が変わっており、登山道を土地の方にたずねる。目前に拇指嶽がそびえ立っておりクライマーが何組か早々と岩にへばりついているのが見える。登山道を15分位歩くと、拇指の岩場の下部に着く、下部を右に巻ながらルートを取り厳しい岩と岩の間のルンゼ状を急登し、上部にでて少し行くと千羽ヶ嶽（△371.4m）である。昨今、千羽ヶ嶽はあまり訪れる人がないようであり、ルートには指導標となるテープが所々にある程度である。山頂から少し下山した岩場の上で（正面にのどかな瀬戸内海の風景、右手真横には拇指嶽の指先が顔を出している）景色に見入りながら昼食にする。昼食の後、拇指嶽の下部の岩場で30分程登攀を楽しみ下山する。数拾年前に初めて幕営した神社にお参りする、神社のお堂には登攀しているパーティーの荷物が置いてあり懐かしい思いがした。下山後、次の予定地へ向かう。

「橋」から海岸沿いに南下して坂手の洞雲山、碁石山へと車を走らせる、ここは小豆島八十八ヶ所の一番二番となっている。碁石山のふもとまで車で入り、頂上への登山道をたずねるがタクシーの運転手さんもご存じでない、「土地の方は、この札所全体を碁石山としておられる」札所

の左側に石段があり、それを登りつめると鎖のある岩場があり古い祠が祭ってあり上部はやせた尾根道になりこれが登山道である、30分位登ると山頂(434.5m)に着く。空模様があやしくなり雨がふりだして来たので早々に下山する。車で民宿へ移動中雨もやんだので、途中の大坂城石垣石切丁場跡を散策して民宿に帰る。

5月5日

本日は島の西方にある皇踏山と寒霞溪を散策して星ヶ城山に登る予定である。8:15 民宿を出発、海岸沿いの外側路線を西へ走行する。途中の喫茶店でコーヒータイムを楽しみ土庄町へ向かう、土庄町野外活動センターより皇踏山の登山口に着く、なかなか整備の行き届いた野外活動センターであり、誰にでも分かる指導標が随所に設置されている。ゆるやかな斜面の登山道を40分位登ると山頂(393.8m)に着く、見晴らしが良く眼下に瀬戸内海の全貌が広がりまるで箱庭のように美しい。

登りと違うルートを下山し、車で移動する、小豆島スカイラインを走り銚子溪へ着き、付近を散策の後、四方指展望台で景色を愛でながら寒霞溪に着く、車を駐車させて、表12景の遊歩道をロープウェイ乗り場まで下山する。

表12景とは自然の織り成す溪谷美の岩肌につけられた名称であり、「烏帽子岳」に始まり「女羅壁」「荷葉岳」「層雲壇」「画帖石」「玉筍峰」「蟾蜍巖」「老杉洞」「錦屏風」「紅雲亭」「通天窓」など鑑賞しながら下り、ロープウェイの乗り場である「紅雲亭」からロープウェイで寒霞溪の広場へ向かい昼食にする。

寒霞溪から星ヶ城山登山口まで車で10分程である、遊歩道に沿ってしばらく歩くと西峰と東峰の鞍部に着き、5分で西峰に出る、景色に見とれる程素晴らしい所である。又もとにもどり鞍部の分岐点から東峰へ緩い登り道を上り詰めると小豆島の最高峰(817m)に着く、中央に石積み奇妙な遺構(烽火台ともある)があって、その少し横に一等三角点の標石があった。付近に舟形遺構、井戸、石造遺構、居館跡、など散策し十分に展望を楽しんで小豆島最後の山を下山する。

帰りは大部港からフェリーで日生港へ…雨天の予報にもかかわらず好天に恵まれ良い山旅であったことを感謝しつつ帰路する。

【参加者】 岡田, 中山, 方山, 上島和, 上島弘, 鷺見敏, 鷺見壽

#### 【コース・タイム】

- 3日 壬生庁舎 11:00 - 姫路港フェリー 15:10 - 小豆島福田港 17:30 - 民宿 18:00  
4日 民宿 8:15 - 南風台～橋 8:50… 拇指嶽岩場 9:15… 千羽ヶ嶽 371.4m 11:05～  
昼食… 拇指嶽岩場 13:15… 橋 - 洞雲山, 碇石山 15:00… 碇石山 434.5m 15:40…  
下山 16:00 - 大坂城石垣石切丁場跡散策 - 民宿  
5日 民宿 8:15 - 土庄町野外活動センター皇踏山登山口 9:00… 皇踏山山頂 393.8m  
9:40… 下山 10:00～登山口 10:30 - 銚子溪 10:50 - 四方指展望台 11:00 - 寒

霞溪 11:30…表 12 景下山～ロープウェイ～寒霞溪 13:30 昼食－星ヶ城山登山口  
13:40…星ヶ城西峰 13:55…西峰東峰鞍部 14:00…星ヶ城東峰一等三角点 816.6  
m 14:10～14:40…登山口 14:50－大部港フェリー－16:50－日生港 17:55－  
帰洛

## 【第 2 0 0 2 回例会】

### 尾 瀬 ケ 原

吉 田 武

5.27 曇り空の中を東 I C を中央高速に向かって進む、名神の若返りの為渋滞が続くが 2 時間あまりで中央道に入った。

雨が降ったりやんだり、諏訪 I C で降りて R 299 を麦草峠に上がる小雨とガスの中を R 141 に出て八千穂村より佐久市に入る。雨が急に強くなる何か夕立のなかを走行しているようだ。上信越道が開通したので佐久市内は多くの道路標識があっただけで分りにくい、何とか御代田町に抜ける道を見つけて R 18 を中軽井沢に向かって走る。時期的にまだ閑散としている軽井沢抜けて R 146 を長野原から R 145 を高山村の中山峠にある別荘につく雨もあがり明日のため早々に就寝する。

5.28 別荘から沼田市を越えて片品村鎌田を左折して戸倉スキー場前につく、尾瀬行の人達がマイクロバスに乗り込んで慌しく出発する。僕らはマイカーなので鳩待峠まで走る、途中津奈木橋にてストップ「ここからマイカーは乗入れ出来ません」との事、ここで初めて乗入れ禁止のチラシを手渡される・・・殺生な－戸倉スキー場まで戻って駐車してタクシーにて鳩待峠に入る。タクシー代 3,650 円、鳩待峠より今回のメイン、鳩待通りを通過して見晴十字路まで約 5 時間の行程であるが別荘を早く出て来たので今日はゆとりをもって歩けそうだ。残雪が多くてルートを時々見失う山スキーの時に付けたと思う赤布を頼りにゆっくりと登り始める、2 時間程で樹林帯も抜けて木道の上を快調に歩いた。雲ひとつ無い快晴で北方に景鶴山その奥に平ヶ岳が多くの雪を付けている。前方には燧ヶ岳がピークを二つに見せて迎えてくれる、後方には至仏山がどしりと構えている。横田代からアヤマ平までの間が最高の景色なので何度もカメラを構えた。今の時期この辺はあまり花が咲いてなくて展望だけを楽しむコースである。富士見小屋の手前より尾根を下って竜宮に行く予定だけれど時間が余るので木道で昼寝をする。尾根の下りは踏跡とテープを注意しながら下山するが雪が多くて苦勞する。尾瀬ヶ原につくとすぐにミズバショウが目飛び込んで来た。足元にはショウジョバカマとリュウキンカ、今の時期咲く代表的な花である。竜宮より 30 分程で見晴十字路についた、時間も早いので小屋にはいらず表で乾杯をしながら時

間を費やした。

5.29早朝4時過ぎに写真を撮るため起きる少し肌寒くウインドブレーカを着て出る。燧ヶ岳からの御来光なので時間がかかる、一時間待っても出て来ないので宿舎に帰って朝食を済ませて出発する。竜宮から西田代そして山ノ鼻、所処にミズバショウとショウジョバカマが咲いていた。山ノ鼻より鳩待峠までは木道が敷かれているので快適に登れた、峠よりタクシーに乗って駐車場まで帰った。

【参加者】 吉田 武 他3名

【2003回例会】

鷲見壽末子、中山忠之両氏退職記念登山

## 金 剛 山

総勢30名が、車6台に分乗して竹田駅を7時すぎに出発する。

奈良県御所市から、国道309号線を走り、水越峠に9時半に到着する。

岡田部長から挨拶があり、鷲見さんは山岳部では知らない人がないくらいであるが、この度市役所を退職の中山さんは、今でこそちょっとご無沙汰だが、山岳部では古くからの部員で、故宮後前部長や現部長らと一緒に行動していた仲間であると紹介される。

峠の林道入口にはゲートがあり、ここからダイヤモンドトレイルを金剛山へ登り、帰りは尾根コースを下ることにする。

近藤初代部長と辻さんは、食糧担当の岡本君の車に乗り換えてもらってケーブルで登ることになる。あとは全員快晴の空に新緑がまぶしい林道を出発する。

谷を隔てて、下山コースの尾根を右に眺めながら進むと30分程で尾根の上り口に着いた。退職記念登山にふさわしく多勢の参加者のため、最後尾が到着するのに時間がかかる。

ここから、林道と別れてジグザグの山道となり、約20分の登りでパノラマ台に到着する。そこから東の方向に展望があり、大和盆地の向こうに、音羽山から竜門岳の山並みが連なって見えた。

広い尾根道を各自マイペースで登り、45分ほどで一の鳥居に到着する。

先頭グループはすでに到着しており、食料班の大倉君が、こちらに向かってしていると無線で連絡が入った。早速先頭グループは1等三角点湧出岳を経由、途中で後発のトラバース組と合流し展望台へ向かった。

展望台では、ケーブル組が既に到着しており、我々を迎えてくれた。やがて全員そろったとこ

ろで、本日のセレモニーを大槻君の司会で始める。

まず、鷺見さんと中山さんに女性部員から、山岳部員有志 68 名の退職記念品を贈呈する。続いて両氏から、山岳部へ金一封を頂戴し、目録を披露する。

近藤親分の発声で乾杯をし、岡本君が用意してくれたよく冷えたソーメンをいただく。（ポッカをしてくれた食料班の皆さんありがとうございました。）

山岳部に入って鷺見さん（粉チャン）が初めて登った山が、この金剛山であったということで、当時の懐かしい写真を見せてもらう。

参加者全員の署名入りの色紙を両人に送り、記念写真を全員で撮り、最後に山村 2 代目部長の発声で万歳三唱をして、本日のセレモニーは無事終了した。

行きに登り損ねた 1 等三角点に登るグループと別れて社務所で合流し、無線中継所のフェンスのある大日岳ルートの急な尾根コースを辿り、全員無事国道に下山しそこで解散した。

コース・タイム 平成 6 年 6 月 4 日

竹田駅 7:00 —— 水越峠 9:30 ~ 9:50 …… 尾根取付点 10:20 ~ 25 …… パノラマ台  
10:45 …… 一の鳥居 11:30 …… 1 等三角点 11:40 …… 展望台 11:55 ~ 13:45 (セレモニーと昼食) …… 葛木神社 14:20 ~ 40 …… 下山地点 16:40 ~ 17:15 (解散)

金剛山登山(参加者) 鷺見壽末子, 中山忠之

O B 近藤 薫, 奥村弘信, 中村維源, 山村敏郎, 横井襄二, 河村 清, 木原 滋,  
上島和彦, 辻 久雄, 今井勇一郎, 津田 実

本局 岡田茂久, 大槻雅弘, 和田良一, 方山宗子, 鷺見敏一, 前田 勉, 井戸澄夫,  
伊豆蔵清, 山元誠一, 上島弘子, 原田加津子, 出海洋三, 渡辺智生夫妻,  
三橋 勉夫妻

五条 田中忠久

横大路 岡本義弘

市役所 荒田又之助

高速 大倉寛治郎ほか 3 人

鷺見壽末子・中山忠之両氏退職記念品賛同者御芳名(順不同)

本局 宮川 勇, 木下嘉造, 川原傳治, 足立公弘, 徳野 治, 山岡昭弘, 山元誠一,  
方山宗子, 前田文男, 柳田 晃, 山口雅直, 原田加津子, 岡田茂久, 渡辺智生,  
井戸澄夫, 大切照男, 佐伯康介, 田村正弘, 広瀬光太郎, 三浦貞義, 大槻雅弘,  
伊豆蔵清, 政 道代, 猪飼康夫, 出海洋三, 鷺見敏一, 上島弘子, 若山裕孝,  
竹田 勉, 和田良一, 今道 力, 井上一夫, 大沢 泰, 澤井佳三, 三橋 勉

市役所 荒田又之助

竹田 大倉寛治郎, 井上 豊, 松田誠二, 岡本 孝, 尾川原和彦

西賀茂 山田富男  
高速 篠田勝美  
梅津 吉田 武  
五条 田中忠久  
烏丸 台川敦美  
洛西 武田喜久郎, 佐々木敏雄  
横大路 岡本義弘  
九条 古市昌造  
O B 近藤 薫, 中村維源, 山村敏郎, 山下周道, 坂井久光, 奥村弘信, 河村 清,  
津田 実, 横井襄二, 村 宗松, 辻 久雄, 今井勇一郎, 石田 弘, 石川かず栄,  
楠とし子, 上島和彦, 坂田利春, 木原 滋

鷺見壽末子・中山忠之両氏から、山岳部へ金一封（10万円）をいただきました。

つきましては、ご厚志は企画委員会で十分に検討し、有効に使わせていただきます。

ありがとうございました。

## 部員各位 様

盛夏の候、本格的な夏山のシーズンを迎え、部員の皆様には、登山計画やトレーニング等楽しい日々を過ごされておられることと存じます。

過日（6月4日）は、皆様方にはご多忙のところ私たち二人のために盛大な退職記念登山を催していただき、また、身にあまる記念品まで頂戴いたしましたこと、失礼とは存じますが書面をお借りしてお礼申し上げます。本当に有難う御座いました。

この度、私たちO B部員となりましたが、これからも現在の体力を維持するよう努力し、山行きが続けたいと思っています。どうぞ皆様、今までと同様、山行のお誘いなどご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

敬具

平成6年6月吉日

中山忠之  
鷺見壽末子



## 【個人山行】

### 丹波の山

#### 居母山南稜東西尾根（仮称）

伊藤潤治

この山行は地形図から拾ったプランであって、山容はほぼ見当はついたが、内容については、何一つ知りようがなかった。けれど登山の場合は、この未知に勝負の妙味がひそんでいて、たまらない魅力とやり甲斐が感じられるというものである。

このたび興味をそそられたのは、出石五万図右下隅に位置している「かみやくの駅」下車で、牧川の橋を渡り左折して入山、尾根を東行、さらに大江山五万図に移り、今西中まで縦走して「しもやくの駅」というコースであった。

五月七日、上夜久野はそこここで田植えが行われていた。田圃に寄って、里人から大山の山名を確認して、廣瀬橋の先で入山すると、「恵空童子・宝暦十三年の墓碑があって、背後の自然林の踏跡を登れば、かって相撲取り場であった平頂、この辺りは高橋城跡。

この先は植林帯に変わるが、北面が一部伐採してあり、富岡山を美しく眺めさせてくれた。

自然林より植林が多く続き、大山Ⅲ 417mでは、KBS京都のテレビ中継、もう一つ夜久野町防災無線中継施設。それに大油子からの道などがあった。

このあとは人工林も自然林も、立派な見ごたえのあるものになった。二ツ目の急登斜面で、たくましい居母山南稜を見て、すごいと感動した。居母山南稜東西尾根の仮称は、ここでの感動からである。

追々に、好ましい自然林域が多くなった。

・579m周辺は二次林のたたずまいがよく、若葉も豊かで、妙に心うきうきさせられた。居母山南稜の接点は、あちらに風格が供わっていて、引き込まれそうな衝動を感じた。

主格の綾杉点Ⅲ 566mは植林の頂きだった。美景の多い山で登った頂上が植林であったのは貧乏くじを引いた思いがした。

そのごは自然が主で、快適に下れ満ちたりた気分で、大江山五万図の・438mについた。今西中点があると信じてきたが、△はなかった。

続けて下ると、すごい二次林が展開し、そこに四等三角点があった。伏見山・三岳山・龍ヶ城が顔をのぞかせ、三角点で本日一番の好展望台であった。

そこから東南尾根を今西中に下山、福知山五万図に入り下夜久野駅着。まずは祝着というべきか。

## 【参 考】

上夜久野駅 8：45 - 大山 10：45～55 - 綾杉点 13：10～55 - 下夜久野駅 16：00。

【参加者】 担当者のみ。

# 例会報告

例会No	目的地	月日	天候	担当者	参加者	記事
2001	小豆島 拇指嶽 星ヶ城山	5月3日 ～5日		鷺見 敏一 岡田 茂久	中山, 方山 上島和, 上島弘 鷺見壽	(別稿詳報)
2002	尾瀬ヶ原	5月27日 ～29日		吉田 武	他 3名	(別稿詳報)
2003	鷺見壽末子 中山忠之両氏 退職記念登山 金剛山	6月4日		三橋 勉	(別稿参照) 部員31名 他 5名	(別稿詳報)

# 部員動静

目的地	月日	天候	参加者	記事
丹波の山 居母山	5月7日 ～8日		伊藤 潤治	(別稿詳報)
葛城山から 二上山へ	5月28日	晴	竹田 勉 馬淵 拓巳 井上 一夫	快晴の中、葛城山から二上山までの約15kmに臨みました。葛城山から岩橋峠までは林間の尾根筋を北に下り、岩橋山は急登のある独峰、竹ノ内峠からは岩屋、雌岳、雄岳の3ピークを登り上がるコースでした。 《コースタイム》葛城山ロープウェー9:35…11:05 葛城山頂…11:30…13:58 岩橋山…15:30 竹内峠…16:10 雌岳…16:35 雄岳…17:23 二上神社口－檀原神宮前－京都
京大芦生演習林 「ブナノ木峠」	6月12日	曇	原田加津子 上島 弘子 鷺見 敏一 鷺見壽末子	内杉林道を川沿いに登り始めると、小鳥のさえずりもさることながら、川のせせらぎと共に河鹿の鳴き声が夏を告げていた。ケヤキ峠まで林道を登り、ブナノ木
				登山口より、ぶなの木や杉の原生林の尾根道を30分程登りブナノ木峠の山頂(939.12)に着く。昼食をした後、雨の予報のせいか登山者に会うこともない往路を、野草を觀賞しながらゆっくり散策し下山した。

部員動静 坂井久満, 天候「晴れ」

「熊尾寺山 II △ 543m, 3/24, 南海市の山」「千葉山 II △ 542m, 3/30, 南海市の山」「鷲ヶ峰 586m, 3/30, 南海市の山」「朝原山 III △ 296m, 4/2, 嵯峨」「愛宕山・比叡山, 4/3, 服部・他4名, 深田クラブ例会」「アマツリ II △ 590m, 4/5, 村岡の山」「鉢伏山 III △ 1221m, 4/6, 村岡の山」「串谷の峰 III △ 627m, 4/8, 海南市」「ピリガイ I △ 1167m, 4/13, 豊似岳 I △ 1105m, 4/14, 知床岳 I △ 1254m, 4/16, 浜益岳 I △ 1254m, 4/19, 浜益御殿 III △ 1039m, 4/19, 余別岳 I △ 1298m, 4/21, 積丹岳 III △, 4/21, 塩谷丸山 629m, 4/22, 他2名, 以上北海道」「桑谷山 III △, 4/30, 他1名, 桑谷山 III △, 5/8, J A C, 天ヶ森 III △, 5/9, 他1名, 雲取山 III △, 5/15, 他1名, 以上北山」「笠塔山 II △ 1049m, 5/22, 他2名, 竜神村・深田クラブ」「笠捨山 II △, 5/30, 台川・坂田, 他1名, 行仙小屋」「皆子山 III △, 5/31」「高山702m・金剛童子山 III △・高尾山 III △, 6/4, 他1名, 丹後半島」「比叡山・横高山・水井山, 6/5, 奥村, 一周トレール」「峯床山・八丁平 6/12, 奥村, 自然保護委員会」

## 雑 報

### △△△ 6月の集会

日 時 6月10日(金) PM 6:30~8:30  
場 所 厚生会館 4F 大教室  
出席者 (OB) 横井, 奥村, 坂井  
(本局) 岡田, 方山, 和田, 鷲見, 井上 以上8名  
内 容 例会報告, 部員動静, その他

### △△△ 5月の企画運営委員会

日 時 5月20日(金) PM 6:30~  
場 所 厚生会館 4F 大教室  
出席者 岡田, 三橋, 大倉, 古市, 井戸, 奥村, 和田, 馬淵  
内 容 例会予告, 岳連報告, その他

### △△△ 他山岳会の会報(受贈分)

4・5月号 愛宕ニュース  
6月分 北山, 趣味の登山, 木雞, 山友, 京都山岳, 近畿山行, 青嶺

△△△ 厚生会 平成6年度登山ツアー「木曾御嶽」

期 間 平成6年8月5日(金)～8月6日(土) 1泊2日(頂上小屋泊)

行 程

8月5日 (金曜日)	京都駅八条口 —— 京都東I.C —— (名神・中央高速) —— 中津川I.C —— 7:00 集合 <span style="float:right">10:00</span> 寝覚 <small>ネザメノトコロ</small> の床・レストハウス木曾路 —— 6合目田の原バスターミナル…………… 御嶽山頂 3,067m 11:15 (昼食 各自負担) 12:15 13:30 16:30 …………… 頂上小屋 (泊) 17:00
8月6日 (土曜日)	頂上小屋 …………… 摩利支天山…………… 継子岳…………… 濁河温泉・湯元館 —— (現地バス) —— 6:00「朝食」 <span style="float:right">1200 (昼食・入湯)13:30</span> 下呂 —— 中津川I.C —— (中央・名神高速) —— 京都I.C —— 京都駅八条口 16:15 17:30 <span style="float:right">20:30</span>

【 —— バス …………… 徒歩 】

会 費 会員及び家族 (大人・小人共) 16,000円

[現金一括払い, または申込時6,000円と9月給料控除10,000円]

募集人員 40名

申込期日 6月16日(木)～6月30日(木)

※先着順申し込みにて定員になりしだい締め切ります。

参加申込書 事務嘱託者を通じて, 当会までお申し込みください。

そ の 他 お問い合わせは, 厚生会 (☎561・822-9121) まで

△△△ 部費徴収のお知らせ

(1) OB部員のみなさんへ

平成6年度会費未納の方は至急に納入をお願いします。

納入方法 OB 会計係 河村 清  
〒 607 京都市山科区音羽役出町18-2  
☎ 075(581)5828

へお願いします。

会 費 郵送の方 ￥ 6,500円  
手渡し方 ￥ 5,000円

OB会計係 河村 清

(2) その他の部員のみなさんへ

平成6年度の部費を徴収しますので、よろしくをお願いします。(7月中)

帆 布・濾 布  
テント・シート  
雨 合 羽  
**木村工業有限公司**

京都市中京区ミブ車庫前  
TEL 801-5331 (代)  
西大路営業所  
下京区西大路七条下ル  
TEL 321-0251

登山とアウトドア専門店

**今、アウトドア派大集合!!**

●登山用品はもちろん、  
注目のスポーツ  
カヌーをはじめ、  
ひと味違う充実の  
品揃えは必見のもの!!



**ビッグホリイケ**

営業時間 AM10:00~PM9:00 (年中無休)  
京都市中京区御池通高倉西入(千代田生命京都御池ビル2F)  
☎(075)222-0363

**京都で唯一の山の専門店**

**Now Out door sports**  
 ハイキング&キャンピング・クライミング  
 アウトドアウェア・US旗出品  
 ポーイスカフト用品

**Mountain**

〒604 京都市中京区二条通河原町西入  
 TEL 075(258)-0548  
 営業時間 AM10:00 - PM8:00 毎週火曜定休  
 (株) スポーツ コニシ

こまめ  
**鮮の歯軋**……………⑤

国産米不足によるタイ米騒動も下火になったが、先日の新聞記事には腹がたった。神戸の米屋が買い手のないタイ米をわれわれ犬族の餌にお持ち帰りくださいと店頭で客に勧めたところ、飼主曰く「ドックフードを食わせてます」と断わったとか。人間の食わないものはワン公に食わせるとは、犬権侵害もいいところだ。タイ国民の感情を逆なでするのもいゝところだ。

制作 ㈱ 北斗プリント社  
 ○七五―七九一―六二二五



建設省国土地理院発行地図販売特約代理店  
 国土地理院空中写真(カラー・白黒)取次  
 通産省地質調査所発行各種地質図取扱店  
 各種地図製作並びに印刷  
 地形図は、20万・5万・2万5千とも全国を常備しております。

## 株式会社 小林地図専門店

〒600 京都市下京区<sup>あけす</sup>不明門通六条下る西側  
 (烏丸通六条東 1筋目下る) ☎ (075) 351-6598 代

地下鉄：五条駅 5番出口・市バス：烏丸六条下車

結婚引出物・内祝・開店記念品・粗品  
 仏事用お返し品・お中元・お歳暮用品

贈答品総合センター

厚生会指定

## サンコークラフト

西 島 輝 雄

左・川端丸太町下る下堤町88  
 TEL (075) 771-3442

平成6年7月1日

京都市中京区壬生坊城町48

京都市交通局内

## 京交山岳部